



広島市立安佐市民病院広報紙

—第34号—

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

いぬいちゃん



広島市立安佐市民病院副院長（看護部長）

中野 真寿美

■三十年を経て

今年の四月に副院長に就任しました。昭和五十七年に安佐市民病院に配属されてから三十年がたちます。

この間、自分自身を成長させるとともに看護の専門性を高めたいという思いで、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）療法士・皮膚排泄ケア認定看護師として活動しながら看護学博士を取得しました。

また、看護学校へも出向し、様々な施設や大学などの状況を知るよい機会となりました。どこに行っても安佐市民病院と比較し、至らない面、検討すべき点、逆に当院の方が進んでいるところなどを気づかせていただきました。

■チーム医療と看護の『見える化』

安佐市民病院は地域に根ざした基幹病院で、がん拠点病院として高度な医療を提供する使命を担っています。看護部においても質の向上が必須であり、その取り組みとして、様々な領域で専門性を持った看護師がチーム医療にかかわっています。

繋がり重視し、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、栄養士など多職種の医療関係者が、患者様の一日も早い回復を支援し、安心して療養生活を送ることが出来る環境の提供に取り組んでいます。

■感性和脱感性

これらの活動はホームページや広報紙などで皆様に紹介し、医療・看護の『見える化』を図っていきます。

私自身が看護師として大切にしていることは「感性和脱感性を磨いていく」ことです。

感性とは、人の喜びや痛みなどの思いを感じ取る力、そしてそれを通して看護の意味を見出す力です。脱感性とは、どんな状況においても感情に左右されない冷静さを保ち、不快な感情を持たずに行動できる力です。

この二つの力を磨いていくことにより看護師は進化していきます。

職務の喜び・楽しさを実感するとともに、患者様からも感謝の気持ちを頂けるようになると考えます。

■最後に

病院の老朽化に伴う建て替え、広島市立病院の経営改善方策の検討など、次々と新しい課題が生まれてきています。

安佐市民病院が今後とも発展し続けていくために、職員一同、力を合わせ、努力してまいります。



中野副院長

【病院機能評価】

安佐市民病院の理念と基本方針

理念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。



平成24年度採用 初期臨床研修医6名の顔ぶれ

臨床研修プログラム責任者（内科、総合診療科、循環器内科）

加藤 雅也



平成16年度から新臨床研修医制度が必修化され、8年が経過しました。当院は必修化当初から初期臨床研修医をフルマッチで採用しており、これまでに39名の研修医が初期臨床研修を修了し、15名が3年目も当院の医師として残りました。今年度も6名中2名が当院の嘱託医になって残留しています。外科、麻酔科、産婦人科、小児科といった特に医師不足とされる科にそれぞれ7名、4名、3名、2名の研修医が進み、39名中31名が現在も広島県内で活躍しています。

この4月1日からは新臨床研修医制度となって9回生となる初期臨床研修医6名が当院に赴任致しました。いずれも元気で明るい若者ばかりです。



いしはら はるか
石橋 はるか
（広島大出身）

大学時代は空手部で、弐段をいただきました。空手で培った忍耐力と精神力で、元氣と笑顔を忘れず頑張ります！



うじみや りか
宇治宮 蒔
（琉球大出身）

6年間暖かい沖縄で過ごしていたので、引っ越したばかりの時は可部の寒さに驚きました。趣味はスポーツで、6年間空手部に所属していました。早く戦力になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくをお願いします！



おおさか しゅうへい
大窪 修平
（広島大出身）

大学ではバレーボールをしていました。趣味はアクション映画、音楽（Hard Rock/Heavy Metal）、スポーツカーです。いろいろな経験をして、頑張っていきます。



きむら ひろし
木村 央
（広島大出身）

大学時代はHALSというBLSを一般市民に普及するサークルに所属していました。胸骨圧迫には自信があります！広島人として広島の医療に貢献できるよう頑張ります。



なみおか しゅんぺい
波若 秀幸
（広島大出身）

まだ未熟な面ばかりですが、まわりの人の助けになれるように日々勉強に励みたいと思います。趣味はスポーツ観戦で、サンフレッチェとカーブは大好きです。どうぞよろしくお願いします。



やまもと なおこ
山本 尚子
（福岡大出身）

安佐市民病院でしっかり研修させていただきます。院内で見かけたらよろしくお願いします！

放射線 治療科



当院での放射線治療は1983年3月から開始され、2012年5月までに延べ5654人の新規の放射線治療患者さんを治療してきました。ここ数年は年間約300人の新規の患者さんを治療しています。2012年4月からは放射線科より分離され、放射線治療は放射線治療科が担当することになりました。放射線治療担当の医師も1人から2人に増えています。また二人とも放射線治療専門医です。放射線治療の対象の患者さんはほとんどの場合、がんという病気を患っており、その不安に向き合いながら治療をしなければなりません。放射線治療はチーム医療であり、放射線腫瘍医、放射線治療技師、医学物理士、看護師と協力しながら、患者さんの治療が安全、安楽、円滑に行われていくように努力しています。

当院の放射線治療の機器は2009年に更新され、最新の強度変調放射線治療や、画像誘導放射線治療にも対応可能となっています。いわゆるピンポイントで病巣をねらい打ちする治療を行うことにより、周囲の組織の合併症を抑え、以前のような患者さんに負担を強いることも少なくなっています。また抗癌剤と併用した集学的治療により、治療効果の向上や生存率の改善も望めるようになってきました。

放射線治療は癌治療の3本柱の1つと言われており、患者さんへの負担が少ないことや癌の状態にかかわらず広く適応があることから今後も患者数が増えていくことが予想されています。また臓器を温存したまま治療が出来ることから頭頸部癌では第一選択となることも多くあります。患者さんへの負担が少ないことから、当院ではほとんどの患者さんは外来で治療を行っています。また通院が困難な患者さんには入院での治療にも対応しています。

今後も多くのがん患者さんと関わりながら、患者さんにとって最良の治療を提供できたらと考えています。

放射線治療科部長
伊東 淳



接遇改善への取り組み

接遇改善委員会
松中 裕子



接遇とは、一般的に「心からのおもてなし」のことをいいます。

安佐市民病院の理念は、「愛と誠の精神を持って医療を提供すること」「地域の基幹病院として高度の医療・ケアをおこなうこと」、私たち職員は患者様や家族の方に、愛と誠の精神を持って接すると共に、患者さんの期待に添う医療サービスを提供する必要があります。

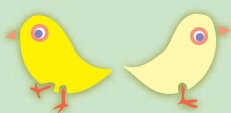
言葉遣いや態度が、マニュアル化するのではなく、思いやりや、気遣い、優しさを根底に発生することを目指しています。さらに、単に患者様の対応にとどまらず、専門職の知識を持ち、それを安全・安心に提供できる技術を持つことも医療者の接遇ではないでしょうか。

優しく笑顔のすてきな職員であっても、急変時の対応ができなかったり、安全な医療が提供できないようでは、患者様も安心して病院にかかることはできませんよね。

「医は仁術なり」とは少し古いことばですが、今病院に求められるのは「医術も仁術もなり」、以上のことをふまえ、生涯にわたり人間性を磨き、主体的に学習し、よりよい医療・ケアを提供できるようになることを安佐市民病院の医療者としての接遇と考えています。

看護部接遇委員会では、接遇向上を目的とした集合研修を年 2 回お手伝いしています。職員対象日には 300 人以上、看護師対象日には 150 人以上が参加しています。また、部署単位で行う毎月の月間目標に沿ったミニレッスン、年に 2 回のセルフチェック、院内アンケートの結果検討なども行っています。全体の接遇意識を高めることができる集合研修も大切ですが、部署単位で行うミニレッスンは、接遇委員が知恵を絞ってマンネリにならないよう、知識が行動に結びつくよう細かな工夫を凝らすことができ、対象人数が少ないというメリットを生かした直接的指導ができるように思います。

日々の接遇委員の働きかけが、実を結んでいけばいいなと願っていますが、まだまだ、対応が十分でないことも承知しております。これからも、活動を継続し職員の接遇が向上することで、患者様が安心して安佐市民病院を利用して頂けるよう努力していきたいとします。



外来でも限度額認定証等が 使えるようになりました!!



これまで入院の場合には限度額認定証等を提示することにより、窓口での支払いを自己限度額にとどめることができましたが、外来で高額な診療を受けた時は、ひと月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったん窓口でその額をお支払いいただき、後で医療保険者から高額療養費として支給されるという方法をとっていました。

平成 24 年 4 月 1 日からは、医療機関等の窓口で限度額適用認定証(※)を提示すれば、1 医療機関ごとに自己負担限度額までの支払額とすることができるようになり、限度額を超える分を支払う必要はなくなりました。

「限度額認定証」等は、加入する医療保険者に事前に申請し、交付を受ける必要があります(平成 24 年 3 月以前に入院で限度額認定証等を交付されている人は期限まではそのまま外来でも使えます)。

外来で抗がん剤治療や放射線治療など高額な医療を受けられる方は、受診される際に保険証とともに限度額認定証等をご提示ください。

ご不明な点はそれぞれの保険者もしくは各科外来窓口にお尋ね下さい。

(※) 70 歳未満の方、70 歳以上の非課税世帯等の方は「限度額適用認定証」、または「限度額適用・標準負担額減額認定証」、70 歳以上 75 歳未満で非課税世帯等ではない方は「高齢受給者証」、75 歳以上で非課税世帯等でない方は「後期高齢者医療被保険者証」

＊ 院内のご案内役 「遠慮しないで声をお掛けください」

葛城 寿江



■どんなことでもお聞きください

「初めてなのですが、どうすればいいの？」
「紹介状を持ってきたのですが」
「お見舞いに来たのですが」
といった事務手続き上のご質問、
「私の症状は何科を受診すればいいの？」
「予約していませんが、急に痛み出して」
のような病状に関するご質問、
「医療費のことで相談したいのですが」
「病気のため今後の生活に不安が・・・」
など福祉全般に関するご相談、



▲南館1階ロビー。左が葛城相談員。

特に多いのは、

「〇〇番窓口はどう行けばいいの？」
「トイレはどこですか？」
「売店や食堂、喫茶店はありますか？」

といった施設に関するご質問。

そんなご質問やご相談を伺い、担当窓口へお連れするのが私の役目です。

■長年の経験を生かして

昭和52年に臨床検査技師として広島市民病院に配属され、平成6年には安佐市民病院に転勤。計35年間市立病院で働いた経験を皆様のお役に立たせたいという気持ちで、定年後の仕事として「院内のご案内役」をためらうことなく選びました。

多忙な医師や看護師などの病院職員と、不安な気持ちでいっぱいのお客様の間を取り持ち、院内の潤滑油となることによって、効率的な医療サービスの提供が可能になると考えています。

■正面玄関ロビーでお待ちしています

ご自身の入院は勿論、ご家族の入院は大きなストレスになります。皆様の不安や不満を取り除き、安心して受診していただくため、毎朝、正面玄関ロビーで皆様に声をお掛けしています。

どんなことでもお気軽にご相談ください。

床頭台が新しくなりました

この度、4月に床頭台をリニューアルいたしました。新しくなりました床頭台についてご紹介させていただきます。

今回は完全デジタル化への移行となり、テレビは従来と同様の液晶画面ではありますが、画面のサイズが以前と比べ大きく、画像もよりクリアになり、BSも視聴していただけるようになりました。入院生活の中で、お客様の楽しみの一つでもありますテレビ視聴の選択がより多くできるようになりました。ご利用されている患者様からも画像がきれい、BSが見られるので見たい番組が増えたと、良いご意見を頂いております。

また、夜間は足元が見え、椅子等の障害物で転倒を予防できるよう感知式のフットライトが整備されています。LEDライトを使用し、節電にも配慮した時代に適した装備となっております。

今後も、限られた空間で入院生活を送っていただく患者様が、より快適に過ごしていただくよう安全で安心な療養環境に努めていきたいと思っております。



患者相談窓口

当院では、患者さんまたはそのご家族からの病気や生活に関する質問並びに入院中の不安など、様々なご相談に対応する窓口を設置しています。皆さまの不安や心配の解消をお手伝いします。

1. 医療相談

「どの科を受診すれば良いですか」
「病気のことや検査について教えてください」

2. がんに関する相談（専門相談員）

「がんの治療や副作用について教えてください」
「家族として、どう接したら良いのか分からなくて」

3. 医療費、経済的なことに関する相談

「高額療養費の申請はどうすれば良いのでしょうか」
「傷病手当について教えてください」

窓口時間：月曜日～金曜日
午前8時30分から午後5時15分
（祝日及び8月6日、
12月29日～翌年1月3日までを除く）



正帯玄関

相談窓口

★お知らせ★

循環器内科 土手医師

「里山ふるさと支援外来」

★ 安芸太田病院 第2土曜日

8:30～13:00（時々変更あり）

★ 北広島町豊平病院 毎週木曜日

8:30～12:30（受付8:30～11:00）

《北広島町方面の患者様へ》

ご希望の方は、遠慮なく
ご相談ください。

ぜひ、豊平病院の外来を
ご利用ください。



がん患者サロン

すずらん

2012年上半期予定表

日程	テーマ	講師
4月19日	おしゃべり会	看護師が同席します
5月17日	「乳がん患者さんの診療で私が注意していること」	外科部長 乳癌専門医 村上 茂
6月21日	おしゃべり会（口腔ケア）	歯科衛生士 丸子 恵
7月19日	肝臓がんの勉強会	内科主任部長 辻 恵二
8月16日	おしゃべり会	看護師が同席します
9月20日	がん治療中の心のケア	精神科副部長 日笠 哲

★講師は都合により変更となる場合があります。
★場所は南館1階患者サロンで午後2時～3時開催予定ですが、会場が変更となる場合もあるため、その都度ご確認ください。
★予約が必要な場合もございます。
★対象は、当院のがん患者さんとそのご家族の方です。

お問い合わせ先：広島市立安佐市民病院 医療支援センター
がん相談支援室 082-815-5211（内線2289）

がん相談のご案内

広島市立安佐市民病院では、

がんに関する相談支援

をおこなっています。

一がん相談一

患者さまや、ご家族のがんに関する不安や疑問、治療による副作用、医療費のこと、セカンドオピニオン、その他のご相談をお受けしています。
相談内容により、看護師・薬剤師・栄養士・専門相談員がお話を伺います。
広島市立安佐市民病院に入院・外来通院の患者さまに問わず、どなたからのご相談もお受けしております。お気軽に相談窓口へお越しください。

受付 時間 8:30～15:15

電話 代表 082-815-5211
内線 2289

場所 南館1階
がん相談室

相談方法 来訪による面談
電話相談 ※予約制

相談費用（料金） 無料

◆ こんなとき ◆



地域がん診療連携拠点病院
広島市立安佐市民病院
がん相談室

「健康祭り」の開催について

会場の都合により延期していましたが安佐市民病院健康祭りは、下記のとおり開催することになりました。今一度健康について考える機会となりますよう、多くの皆さまのご来場をお待ち申し上げます。

（一部の皆さまには10月20日に開催とお伝えいたしましたが、日程が変更になっておりますのでご注意ください。）

記

日時：平成24年10月13日（土曜日）10時～14時

お問い合わせ：安佐市民病院健康祭り実行委員会

場所：安佐市民病院北館2階WAPセンターおよびその周辺

長崎信浩まで 電話 082-815-5211（内線3460）